

心ひとつに 負けてたまるか大震災

震災から4週間が経ちました。被災地では、ようやくガソリン供給が正常になりつつあり、全国からの支援物資を持って、会員訪問へ動き出しています。県内業者の調査からは、材料不足や風評被害など、深刻な影響が寄せられています。負けてたまるか大震災！心一つに奮闘しましょう。



4月3日、福島県連事務所を訪問。県連役員、相双民商と福島民商の役員・事務局長が迎えてくれました。

4/1～4日 3県連を訪問

福島市内では地震の被害は食器が落ちたり、屋根瓦がずれたぐらいとのこと。しかし、原発の20キロ圏内にあたる相馬市では津波による被害も大きく、原発で遺体の収容ができない状況と話してくれました。

福島第1原発から11キロに自宅があるある相双民商の紺野会長。「避難所にはいろんな物資や情報が入るが、親戚に身を寄せている者には、情報なし。支援物資なし」と。「20キロ圏内は立ち入り禁止。搜索できないし、写真もとれない。相双民商の会員460人中220人が20キロ圏内。半数以上が安否がわからない」と松本事務局長。すでに7回、8回も避難所の引っ越しをしている方もおり、「役場のバスに乗れば、その指示に従うしかなく、いつ戻れるかわからない」とその現状を話してくれました。

福島県連では他団体と共同し、支援共同センターを発足。センターで先日おこなった「なんでも相談会」には、「80頭牛を飼っている。餌代8000万円。設備借入、返済はどうしたらいいか」との相談も。

「現金支給は何もない。すべて社会福祉協議会を通さないと支援物資も受け付けられない。避難所名簿は守秘義務にあたるから見せない」と、怒りを表していました。

—お願い—今、必要な支援物資は全商連文書で連絡しています。各民商で自主的に送付を計画してください。なお、物資の送付FAXは県連へ送付してください。

多くのはげましの言葉 (神戸親和)

神戸親和民商では、募金袋を持って全会員訪問をおこなっています。「阪神・淡路大震災の時助けてもらった。今度は…」の思いもあり、5万円、2万円の支援募金を寄せてくれる方もあり、現在、429,778円が集まっています。

封筒には、「身も心もつらく悲しい思いでいっぱいでしょう。でも日本中の仲間が皆さんのことを応援します。阪神・淡路大震災では神戸も皆さんの暖かい心にどんなに励まされた事でしょう。長いトンネルかも知れませんが、必ず灯が見えます。希望を失わないで下さい。そして仲間がいる事も」、「私も地震で実家と母を失いました。つらいですが頑張ってください。みんなで応援しています」、「私も震災で避難所生活を経験しました。でも全国の皆様の救援物資や暖かい心で乗り越えることができました。今は寒くて大変だと思いますが、頑張ってください。応援しています」など、たくさんの言葉が書かれています。

支援募金は全会員に訴えましょう。集まった募金は随時、県連へ送ってください。

リサイクルショップ経営の会員。民商事務所で募金をお願いすると、1万円を渡してくれました。「震災のあと、すぐ気仙沼に新品の下着と靴下をおくりましたよ」と、話してくれ、早く元気になって欲しいという気持ちが伝わってきました。(神戸北)

全商連緊急情報読み合わせよう！